

経済

【概況】

- 2000年代初期に開始された土地政策(白人大農場主からの強制土地接收)を契機に、主要産業の一つである農業が衰退。
- 2000年初頭以降、国際的な孤立で外部からの支援がストップ。一方で政府は歳出の拡大を続け、ジンバブエ・ドルの発行を加速させた結果、ハイパー・インフレが発生(ピーク時の2008年には推定2億%超)
- 2009年の複数外貨制度導入によりハイパーインフレーションが収束して以降、同外貨導入により(主要通貨は米ドル)、一時的に2012年にかけて高い経済成長率を記録するも、その後経済は低迷。
- 2014年頃より外貨現金不足が深刻となり、2016年11月に見なし通貨であるボンド紙幣を導入。

主要経済指標

	2014年	2015年	2016年
GDP (億ドル)	158.3	160.7	162.8
GDP成長率(%)	2.8	1.4	0.7
インフレ率(%)	-0.2	-2.4	-1.6
歳入(億ドル)	39.2	35.9	35.2
歳出(億ドル)	40.3	38.2	45.9
貿易収支(億ドル)	-25.9	-24.5	-25.8
輸出総額(億ドル)	37.1	36.1	36.3
輸入総額(億ドル)	63	60.6	62.1
対日輸出総額(億円)	17.5	20.4	14.7
対日輸入総額(億円)	39.9	33.9	18.1

出所:世界銀行, 財務省(ジンバブエ), 財務省(日本)

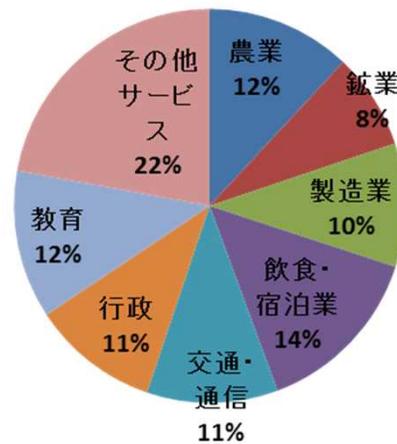
当国が直面する経済課題

- 過大な公務員人件費(公的支出の約8割、歳入の9割以上)
- 高失業率(80~90% ※非正規分野は除く)
- 巨額の対外債務(約73億ドル:うち約51億ドルが延滞債務)
- 慢性的な貿易赤字、現金不足



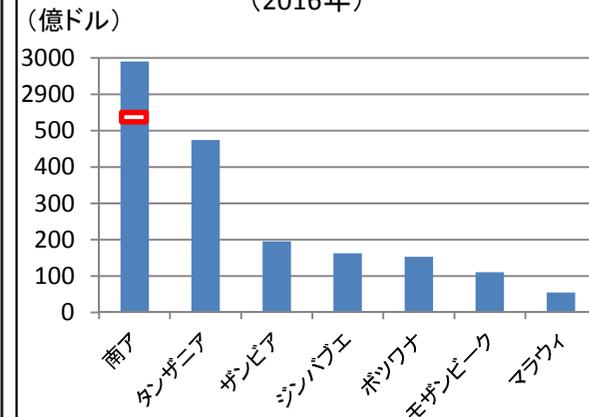
ハイパーインフレの象徴・100兆ジンバブエドル(2008年発行)。

当国のGDP構成比(2016年)



出所:ジンバブエ中央統計局

近隣諸国とのGDP規模比較(2016年)



出所:世界銀行

●主要輸入品目

燃料、機械、自動車、電子機器等

●主要輸入相手国:南ア(41%), シンガポール(22%), 中国(6%)

●主要輸出品目

タバコ、鉱物(金・プラチナ)等

●主要輸出相手国:南ア(78%), モザンビーク(7%), UAE(0.3%)

●債務総額:113億(国内債務40億, 対外債務73億)

対外債務のうち, 世界銀行などマルチ(25億ドル), パリクラブ加盟国(31億ドル), 非パリクラブ加盟国(17億ドル)